

## 平成19年度 佐賀県立佐賀商業高等学校学校評価計画

1 学校教育目標（長期教育目標）
経済社会の各分野で活躍しうるように、学校生活のあらゆる機会を通じて商業人として必要な知識や技術を習得させ、生徒の心身を錬磨する。

2 学校経営ビジョン（中・短期教育目標）
(1) 「授業と部活動を真剣に」をモットーに文武両道の教育を推進する。 (2) 基本的な生活習慣を身に付けさせ、心身ともに健全な生徒を育成する。 (3) キャリア教育（生徒一人ひとりの勤労観や職業観を育てる）を推進し、地域社会や日本経済の発展に寄与しうる商業人を育成する。

3 本年度の重点目標	4 前年度の成果と課題
(1) 明るい挨拶、気持ちのよい挨拶 (2) 授業と部活動を真剣に (3) 高校生らしい身だしなみ (4) 身の回りの整理整頓 (5) 朝の10分間読書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課程を検討し、進路保障の充実を図る。</li> <li>・各教師の「カンセリングマインド」の向上と特別支援体制の早急な確立が必要である。</li> <li>・生徒指導において担任・学年主任・保健課（教育相談係：スクールアドバイザー）との連携の強化を図る。</li> </ul>

5 総括表				
領域	評価項目	評価の観点 (具体的な評価項目)	具体的目標	具体的方策
学 校 運 営	学校経営方針	・本年度重点目標の周知	・教職員、生徒、保護者に周知する。 ・周知度を90%以上にする。	・職員会議や全校集会等で説明する。 ・学校便り、後援会総会、学級懇談会等の折りに周知し、具体的取組を説明する。
	教職員の 資質向上	・研究授業（公開授業）の推進	・教師一人当たり、年最低1回以上研究（公開）授業を実施する。	・指導方法の工夫・改善のために、各教科での研修や研究の充実を図る。 ・何時でも公開授業ができる体制づくり
		・社会の変化に対応した教育の実践	・年に1回は研修を受講する。	・県教育委員会主催の研修や教育センター研修等を活用し、教育環境の変化に的確に対応できる教員の育成を図る。
	開かれた学校づくり	・1日体験入学の実施	・中学生の参加者数を、昨年度並みを目指す。	・夏期休業中に体験入学を実施する。 ・中学校における学校説明会の充実（今年度は19総体のため、従来の内容での実施が困難であるので、内容等を検討して実施する）
		・家庭や地域への情報発信	・周知度を85%以上にする。	・学校のホームページや「鯨の門だより」を通じて、学校の情報を公表し、月に1回は内容を更新する。 ・閲覧の状況の確認
		・学校施設や教育資源の地域への開放	・各機関からの要望に対する開放に向けて条件整備を行う。	・学校施設を各種試験会場や地域行事等に解放する。 ・地域行事に積極的に協力参加する。

学 校 運 営	開かれた学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校評議員制度等を活用した学校運営の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校評議員会を学期に1回実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校評議員会を学期に1回実施し、各委員から出された意見を吟味し、学校運営に反映する。</li> <li>学校評議員に授業を参観していただき、意見を聴取し、授業や行事の改善を図る。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者や地域との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者や地域の人を対象に、3回以上、公開授業を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>後援会総会時に公開授業を実施する。</li> <li>学校開放週間に全ての授業・部活動等を公開する。</li> </ul>
教 育 活 動	学力向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導方法の改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教科で分野ごとの到達度を設定し、年度末での到達度テストで、70%以上の通過率となるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進度計画や到達度について各教科間で再点検を行い、教材の作成を行う。また、到達度テストの検討を行う。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>資格取得</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>卒業までに全員に1種目以上1級の資格を取得させる。</li> <li>卒業までに3種目1級以上の取得者数を45人以上にする。</li> <li>卒業までに情報処理科の生徒全員に情報処理1級の資格を取得させる。</li> <li>国際経済科の3年次までに、全員に実用英語検定準2級を取得させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>カリキュラムを見直す。</li> <li>理解度を見るための確認小テストを実施し到達していない生徒には、補講を実施する。</li> <li>高度な資格を取得させる事で、進学を容易にする。</li> <li>各種検定前の強化指導を図る。 (部活動顧問との連携)</li> </ul>
	進路指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路希望の達成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>就職内定率、進学決定率とも100%を目指す。</li> <li>国公立大学合格者数2桁を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>過去の就職先を訪問するなど企業開拓に力を入れ、今年度の採用の状況を把握する。</li> <li>進学希望者には1年次より進学補講を実施する。</li> <li>1年次に進路啓発事業の一環として大学、専門学校、企業等の見学を実施し、早い時期から動機付けを行う。</li> <li>公務員希望者へも補講を実施する。</li> </ul>
	生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な生活習慣の確立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>皆勤の生徒を5%増やす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「明るい挨拶、気持ちの良い挨拶」運動を推進する。</li> <li>正しい礼儀作法と端正な服装着用</li> <li>個別面談の折での生活指導充実を図る</li> </ul>

教 育 活 動	生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒指導方針の確認と指導体制の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>周知度を80%以上にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒指導方針を年度当初に職員、生徒や保護者に明確に示し、定期的にその達成度を確認する。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>事後指導より事前指導の徹底を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事件や事故の発生率を昨年より下げる。(10%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事件や事故が起こってから指導するのではなく、事件や事故が起こらないように事前指導を徹底する。</li> </ul>
	図書	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館の利用促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>貸出冊数10%アップを目指す。(一人当たり3.2冊→3.3冊)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新刊案内・お薦めの本など広報活動を充実させる。</li> <li>生徒の学習に必要な書籍を充実させる。</li> </ul>
	特活指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>部活動の振興</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>部活動入部率90%を目指す。</li> <li>高校総体で昨年同様の優勝旗を獲得する。</li> <li>部活動時のケガを昨年度より10%程度減らす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>部活動紹介において映像や実演を交えて、興味を引くようにする。</li> <li>体験入部期間を設定する。</li> <li>部活動編成に未入部者に対して追指導を行う。</li> <li>部員・指導者研修会を実施する。</li> <li>特色(中学時代等実績)ある部員確保に努める。</li> </ul>
	保健	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康診断の事後指導の徹底</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>う歯・歯周病疾患保有者へ指導を行い未処置者数を10%減らす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>う歯や歯周病疾患の予防法を周知させ、早期治療に対する意識の向上を図る。</li> <li>検診後及び夏季・冬季休業前に未治療者へ治療を促し、治療率を上げていく。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>ゴミの減量化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゴミの量を昨年度より、減らしていく(5%減)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>強調週間を設けて各クラスから出されるゴミの量軽減を図るとともに各自持込んだものは持ち帰る運動の推進。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>教育相談体制づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>不登校生徒等への支援体制を確立する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健室、学年会との連絡会を通じて連携を密にし、関係職員が共通認識を持って対処できる体制を構築する。</li> </ul>
	総務	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>後援会総会への参加率を75%以上にする。</li> <li>地区別保護者会への参加率を50%以上にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育講演会を実施したり、早めの連絡を徹底する。</li> <li>地区保護者会への参加増を図るため地区割の方法を検討する。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>同窓会各支部との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>最低年1回以上の各支部総会の開催</li> <li>各支部総会への会員の参加率を10%以上にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校創立100周年に向けて、「鯨の門だより」やホームページで広く情報提供を行う。</li> <li>各支部担当者との連携を密にし、会報等の配布回数をできるだけ増やす。</li> </ul>
	学校行事	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の重点目標に則した学校行事の精選</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校行事の精選を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校行事を定期考査後に実施することで、授業時間を確保する。</li> </ul>
家庭学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭学習の時間の確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭学習を毎日最低1時間は継続して行わせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教科・科目で宿題を出す。</li> <li>アンケートをとり実態を把握する。</li> </ul>	

5 総括表				
領域	評価項目	評価の観点 (具体的な評価項目)	具体的目標	具体的方策
1 学 年 の 教 育 活 動	学習関係	・基礎学力の向上	・漢字テスト、英単語テストの不合格者数を学年3%以内にとどめる。	・実施計画に基づき、担任・副担任が連携して事前指導、事後指導を徹底する。特に基礎学力修得の意義への理解を徹底させる。
	生活関係	・基本的な生活習慣の確立	・メモや記録をとる習慣を全生徒に修得させて、全生徒が自己管理をできるようにする。	・全生徒にメモ、記録用のファイルを持たせ、共通書式で学習や提出物に関する生活管理をさせる。 ・5分前行動を徹底する。 ・挨拶を励行する ・集会時には静粛にさせる。
	その他	・進路希望の達成	・進路指導を充実させ、クラス編成作業なされる2学期終盤までに全生徒に志望進路を明確化させる。 ・志望の実現のためのポイントを考えさせ、生徒に早期の取り組みをさせる。	・2年次から編成される商業科専門進学コース、情報処理科進学コースを、明確な進学目的を持った生徒の集団として構成する。 ・ロングホームルームにおける進路指導の充実を図る。 ・進路実現のために必要な評定値、資格、学力等を各生徒に調べさせ、それらを達成する計画を立てて学習や諸活動に取り組む指導を行う。
		・部活動の活性化	・部活動の入部率を90%以上の現状を維持する。	・顧問との連絡・連携を取り、学習や生活指導と部活動とが両立できる状況を維持する。
2 学 年 の 教 育 活 動	学習関係	・基礎学力の向上	・欠点保持者をなくす ・評定80点以上の生徒数50人以上を目指す。	・担任と教科担任を中心に学年全体で情報交換を密に行い、お互いに協力して授業態度の向上や課題・提出物の徹底を図る。 ・ホームルーム・個人面談・学年集会等を利用して、進路実現へ向けて評定平均値・資格取得の重要性を再認識させ、学習意欲を喚起する。
	生活関係	・基本的な生活習慣の確立	・出席率のアップ(長期欠席者0、出席率99%以上)を目指す。	・学年団(正副担任・学年部長)で学年全体の出席状況を毎日確認し合い、協力してその指導にあたる。 ・不登校傾向の生徒に対しては、早期に保護者・教育相談・保健室と直接連絡をとって、協力関係を築く。
	その他	・特別活動の充実	・各種特別活動(体験学習等)への積極的参加を促し、アンケートや感想文等での満足度80%以上を目指す。	・インターシップ・修学旅行・佐賀総体・100周年記念式典等の各種特別活動の事前指導・事後指導を十分行い、世界観や視野を広げ、社会性を身に付けさせる。
		・部活動の活性化	・部活導入部率90%を目指す。 ・(文武両道の実践を目指す)	・ホームルーム・個人面談・学年集会を利用して、部活動の意義と重要性を説き、前年度末の中途退部者を含め、未加入の生徒への入部または生徒会活動への参加を奨励する。

3 学 年 の 教 育 活 動	学習関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の満足いく進路決定への取組</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進学先・就職先を卒業までにそれぞれ 100% 決定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>担任・生徒との面談を繰り返し行う。</li> <li>進路指導課との連携を密にする。</li> <li>資格取得を着実にさせる。</li> <li>国公立大学合格者数 2 桁を目指す。</li> </ul>
	生活関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な生活態度・マナーの向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身だしなみ、挨拶、言葉遣い、時間厳守を徹底する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒指導課との連携を密にする。</li> <li>全ての生活の場面で、気づいたことは、その場で指導する。</li> <li>生徒間の不公平感をなくすよう「報連相」に努める。</li> </ul>
	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>部活動（中味）の一層充実と全国高校総体成功に向けての取組</li> <li>ボランティア活動への積極的参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高校総体や各種大会で自己ベストを目指す。</li> <li>全国大会での役割に尽力させる。</li> <li>生徒会のカンボジア支援に協力させる。</li> <li>校外機関に協力し、ボランティア活動の幅を広げる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>部活動顧問との連携を密にする。</li> <li>相互に応援をし合う雰囲気づくりに心がける。</li> <li>マナーアップの指導を日頃から行う。</li> <li>定期的にクラス独自の活動を展開する。</li> <li>校外ボランティア団体の講座や事業を調べて、積極的に参加する。</li> </ul>
特 定 課 題	I T を活用した授業	<ul style="list-style-type: none"> <li>パソコン活用授業の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教職員全員が情報機器を活用した授業を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報機器を活用した授業を全教諭が学期に 1 回実施する。</li> </ul>
	学校の個性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>特色ある教育課程の編成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成 20 年度に向けて特色ある教育課程の編成に取り組む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の興味・関心や進路希望等に対応したコースを設け、教育目標や年間計画を明確にする。</li> <li>アンケート等を通して実態を把握する。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>地域開放講座への協力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>6 講座の実施を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「高校生 Teacher 講座」に参加し、将来の佐商生を目指す生徒への支援をする。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>外部講師の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間計画に沿った 15 時間以上の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の多様な興味・関心に応えるとともに、より高度な資格取得や発展的な学習に結びつける。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>高専・高大等との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日商簿記 1 級合格を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高度な資格を取得させ、高大連携の基盤をつくり、難関大学に挑戦させる。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>インターンシップの推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施学年生徒の 100 % の参加実現</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職場での体験を通して、勤労観や職業観を培うとともに、将来の進路を考えるきっかけとする。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>学校祭（体育祭と文化祭の同時開催）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>19 総体、100 周年記念事業年度における体育祭と一体化した企画運営</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度限りの文化祭内容と今後体育祭と同時開催に向けた企画のあり方を検討し、地域参加型文化祭を実施していく。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>起業家教育の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>起業家教育を定着する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校独自のテキストを作成する。</li> <li>企業を興すまでの一連の流れを体験する事で、将来の起業家を目指す生徒を育成する。</li> <li>知的財産教育の充実を図る。</li> </ul>		